

# N部門

(知的障害教育部門)

## 身体づくりの教材・自助具

(身体の動きを補助する教材、  
感覚遊び的な教材)

### 教材ガイド



鹿本学園キャラクター  
シカちゃん      モトちゃん

平成27年度 第2回作成

東京都立鹿本学園

## 目次

- アクロバットホース
- あしあしてのうんどう
- サラサラゴロゴロ透明バー
- つまんでうごかしてさす
- どこかな？どこかな？
- 傾斜台
- 洗濯バサミぱっちゃん
- 的当て
- 落ち着いて座ろう

# アクロバットホース！ ～つくってあそぼう～

## 対象児童・生徒

- ・手先の巧緻性を高めたい児童
- ・作って遊ぶ工作が好きな児童

N 小5 自閉症学級

太田ステージ III-2 ~ IV以上



## ねらい

- ・教員の手本を見ながら、作ることができる。
- ・力の強さを調節することができる。

- ・折り紙のようなものであるが、その後遊ぶことを考えて、厚めの紙を使用した。
- ・しっぽの所を跳ね上げる力を調節できるようになってきた。

## 教材の使い方 (指導方法)

・教員が示す手順に沿って、折り紙を行う。途中はさみで切り目を入れるところがあるので、使用時に注意する。

- ・馬を立てた状態でしっぽを人差し指で跳ね上げる。

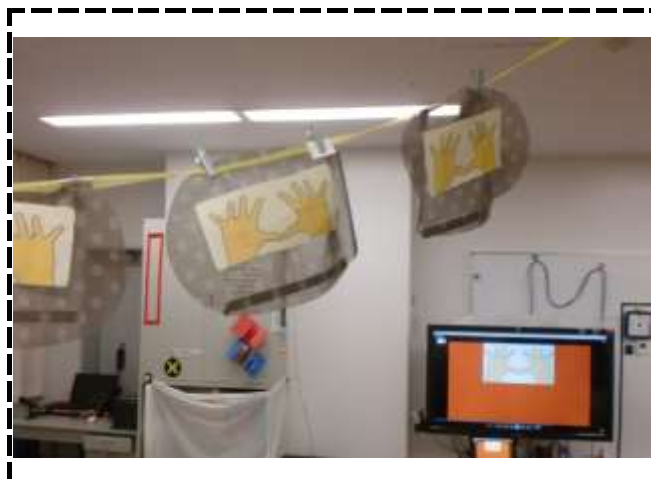
↓  
成功すると馬が一回転して元のように立つ。力の加減がうまく行かないと馬は倒れてしまう。

# あしあしてのうんどう ～リズムに合わせて足踏み・ジャンプ～

## 対象児童・生徒

・リズム運動や高くジャンプすることが苦手な児童向けの教材です。

N 小4 自閉症学級  
太田ステージ II



## ねらい

・リズムよく足踏みしたり、高くジャンプしたりする。

・リズムに合わせて、足型や手型が出てくる映像を作成し、すすんで見て動けるように工夫した。

・児童によって、手型の高さを変えて、確実に手型にタッチし達成感が得られるように工夫した。

## 教材の使い方 (指導方法)

・児童が、見本の映像に合わせて、足踏みしたり、ジャンプしたりするので、「あし、あし、て」や「高くジャンプ」などの言葉かけをする。



# サラサラゴロゴロ透明バー ～「テカすぎて見えない」のチョイ手前～

## 対象児童・生徒

- ・物をしっかり見ることが難しい児童向けの教材です。
- ・上肢、手指の細かな調整に課題を持つ児童向けの教材です。

N 小5 重度・重複学級

太田ステージ I ~ II



## ねらい

- ・ビーズやボールの動きに興味を持ち、目で追う。手をのばす。
- ・バーの傾きを自分で調節しながらスピードを変えてビーズやボールを動かす。

・大きさにインパクトを出し、つい目が行ってしまう雰囲気を醸し出しました。  
(下に置かれているのが30センチ定規)

・ビーズのバーはゆっくり動かすと中身もゆっくり動き、素早く傾けると大きな音が出てそれはそれで楽しいです。

・ボールは素早く動かしてもゆっくり転がるので、目で追いやすくなっています。それぞれねらいに合わせて使い分けることができます。

## 教材の使い方 (指導方法)

- ①
  - ・少し離れた位置からバーを提示し、注意を向け少しずつ近づける。
  - ・目の前でビーズやボールをゆっくりころがし、ビーズやボールが転がる様子を目で追うことを促す。スピードに配慮し、目で追いやすいようにする。
- ②
  - ・机の上に置き、バーの端を持ち上げて中身を転がす。
  - ・両手で持って、自由に動かす。ビーズは傾ける角度や速さで動きが変わるので、ゆっくりやって見せると、自分でいろいろ調整してみるようになる。

# つまんで、うごかして、さす！

## 対象児童・生徒

- ・物をつまむこと、つまんで操作することに課題のある児童
- ・細かい物をつまむ時、親指と中指や薬指とでつまみ、人差し指を使わない児童

N 小3 知的障害学級

太田ステージ II



## ねらい

- ・人差し指と親指とで、物をつまみ操作することができるようになる。
- ・手指の巧緻性を高める。

- ・物入れを倒して使用。カラーシールで、上と下に同じ色をつけ、さしこむピックと色マッチングをできるようにした。
- ・2か所にさしこむようにしたことで、きちんと意識して操作ができるよう、難しくした。

## 教材の使い方 (指導方法)

- ・ピックを、同じ色の穴にさす。
- ・ピックを持ちながら調整し、下の段も同じ色の穴にさす。
- ・全色、同じようにさしていく。
- ・手首を使うよう、ケースによっては箱を立てて置き、横方向にむかってさすようにしてもよい。



# どこかな？どこかな？ ～あおむしをさがしてみよう～

## 対象児童・生徒

知的・重度・重複障害学級での、国語・算数の個別指導で使用。  
視野が狭く、集中が続かない児童が手と目を使って楽しみながら取り組む課題。

N 小5 重度・重複学級

太田ステージ I



## ねらい

- ・自分から積極的に取り組むことができる。
- ・一方向ではなく、上下左右を見ながら探すことができる。
- ・いろいろなあおむしを探す期待感もてる。

- ・丸太にいろいろな方向の穴をあけることで、両手を使って取り組むようになった。
- ・主に国語・数学の個別課題や、コミュニケーションの指導で使用。
- ・繰り返し行うことで、自分から上下左右を見て、一人で取り組むことができるようになってきた。

## 教材の使い方 (指導方法)

- ・前段階として、磁石を使って、魚釣りの活動を行い磁石の特性がわかります。
- ①最初は教員が、穴の中に磁石を入れてあおむしを引き出して見せる。  
↓
- ②いろいろな穴があり、そこからいろいろなあおむしを引き出し興味もてるようにする。  
↓
- ③一人で磁石を使ってやってみる。  
↓
- ④どんなあおむしがでてきたのか一緒に確認する。

- ・カラフルなあおむしを準備し、飽きずに取り組めるようにします。
- ・磁石の持ち手を、太さ、細さ、長さなど児童の実態に応じて準備します。

# 傾斜台

～見やすい！取り組みやすい！！～

## 対象児童・生徒

・弱視や目の動きが弱い生徒、本やプリントを読むときに姿勢がうまくいかない生徒など多種多様な生徒に使える補助具です。

N

太田ステージ I ~ IV以上



## ねらい

・目に障がいがある生徒が、見やすく、学習に取り組みやすいようにできる。  
・姿勢を保持して、本やプリントを読むことができる。

・ベニヤ板と木材を使用しました。  
・用途に合わせて、3段階に角度を変えられるようにしました。色も3つにし弱視の生徒でも見やすいようにしています



・使用すると生徒の目の動きが定まるようになり、姿勢も良くなった。

## 教材の使い方 (指導方法)

①傾斜台を机の上にセットする。

②後ろの支え板を生徒の用途に合わせ3段階の位置にセットする。

③本やプリントを置いて学習に取り組む。

※目に障害がある生徒に対しては、目へのサポートとして使用する。  
(上下左右へ眼球を動かすことの難しさや見えづらさへの支援)

※姿勢が保持できない生徒に対しては、突っ伏した姿勢にならないようにするために使用する。





# せんたくばさみでぽっちゃん

## 対象児童・生徒

- ・色の弁別の学習
- ・手の操作性を高める学習

N 小1 自閉症学級

太田ステージ III - 1



## ねらい

- ・色の分別をする。
- ・洗濯バサミを手ではさむ。

- ・段ボール紙等の厚紙で作成して持ちやすいようにする。
- ・シールがとれないようにブッカーを表面につける。
- ・使い始めは色が合わないことが多かったが、次第に正確にはさむことができるようになった。

## 教材の使い方 (指導方法)

- ①始めのうちは洗濯ばさみを一つずつ渡して色別に正確にはさむのを確認しながら行う。
- ②慣れてきたら1人で取り組めるように促していく。

# 的当て

～にぎる・投げる・かぞえる～

## 対象児童・生徒

- ・にぎる動作、腕を大きく動かして投げる動作、的をねらって投げる運動が課題となる生徒。
- ・1ケタの具体物を数えたり、それぞれのあたった数の合計の計算など、数の学習が課題となる生徒。
- ・ゲームのルールや役割理解が課題となる生徒。

N 中1 自閉症学級

太田ステージ I ～ III - 2



## ねらい

- ・的をねらってボールを投げる。
- ・当たった（くっついた）ボールを数える。
- ・ルールや役割を理解してゲームを行う。

- ・面テープの接着力で、当たると高確率で的に付くようにした。
- ・的内を分けせず、当たる（付く）か外れる（付かない、落ちる）かだけにした。
- ・的をマグネットで貼るので、場所を取らず、移動や位置調整が簡単。
- ・当たらずにイライラしてボールを踏みつけた生徒がいたが、ボールも生徒も無事。

## 教材の使い方 (指導方法)

①決められた数のボールを、的に向かって投げます。（ボールには面テープの硬い側が貼ってあるので、にぎる感触がしっかり感じられます。）

↓  
②的に当たった（くっついた）ボールを取りながら数えます。

↓  
③外れたボールも合わせて、次の人に渡します。

# 落ち着いて座ろう ～自閉症生徒の座る指導～

## 対象児童・生徒

自閉症傾向の強い生徒に向けた教材です。閾値の求めに応じた一本の足で落ち着いて座るための教材です。

N中2 知的障害学級 自閉症学級

太田ステージ II ～ III-1



## ねらい

- ・一定時間、落ち着いて座り続けることができる。
- ・立ち歩かずに、教員の話や学習に気持ちを向けることができる。

- ・座りやすく□面にしたが、○面にも加工可能なようにした。
- ・滑り止めマット等と併用することで、場所に応じて使用できるようにした。

## 教材の使い方 (指導方法)

- ・教材を逆さにして立てて使用する。
- ・高さや座面の大きさ、滑り止めに関しては、使用する生徒の身長や実態、使用する場面、場所に応じて、変化させる。